

# 衆議院内閣委員会ニュース

平成 26. 4. 2 第 186 回国会第 9 号

4 月 2 日（水）、第 9 回の委員会が開かれました。

## 1 健康・医療戦略推進法案（内閣提出第 21 号）

### 独立行政法人日本医療研究開発機構法案（内閣提出第 22 号）

- ・菅内閣官房長官、加藤内閣官房副長官、西川文部科学副大臣、赤石厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・厚生労働委員会と連合審査会を開会することに協議決定しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 大 島 敦君（民主）

- ・両法案の必要性及び菅内閣官房長官が両法案を担当する意義について伺いたい。
- ・平成 26 年度医療分野の研究開発関連予算のポイントにおいて挙げられている 9 つのプロジェクトについて、費用対効果が高いプロジェクトに重点を置くべきと考えるが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・プログラムディレクター（PD）やプログラムオフィサー（PO）等が果たす役割は大きいと思う。そのため、これらの人選が重要となると考えるが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。

### 若 井 康 彦君（民主）

- ・健康・医療戦略推進本部と総合科学技術会議との棲み分け及び連携の在り方について政府の見解を伺いたい。
- ・少子高齢化が進展する中で、科学技術を担う人材の確保に向けた政府の取組について伺いたい。
- ・独立行政法人日本医療研究開発機構と米国の NIH との最大の共通点及び相違点について菅内閣官房長官の見解を伺いたい。

### 宮 沢 隆 仁君（維新）

- ・若者の創意に対して直接投資することが重要であると思うが、最近、論文不正・捏造問題等が生じていることを踏まえると、政府が科学界に介入することも必要ではないかと考えられる。この点についての菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・日本の科学界におけるオーサーシップを真剣に考える必要があり、その定義等を国として標準化するとともに、不正防止のための抑止力として罰則を設けてもいいのではないかと考えるが、政府の考えを伺いたい。
- ・プログラムディレクター（PD）及びプログラムオフィ

サー（PO）の人選が重要であり、その際、学閥の影響を排除する必要があると思うが、この点についての政府の考えを伺いたい。

### 山 田 美 樹君（自民）

- ・我が国における創薬の産学連携は、どのような方向性で国際競争力のあるハイレベルなものを目指していくのか、政府の考えを伺いたい。
- ・健康・医療戦略推進本部によって医療分野で戦略的かつ一体的な予算配分がされることになると、政府系ファンドへの投資判断にも影響が出てくることになると考えられるが、同推進本部が政府系ファンドに対しどのような形で示唆することができるのか、政府の考えを伺いたい。
- ・新たな医療分野の研究開発体制における中長期的な予算のメリハリづけについての考え方とそれを支える組織体制について政府の方針を伺いたい。

### 豊 田 真由子君（自民）

- ・トップダウン型の研究開発の推進における個々の研究者等に対するコントロールの在り方と新たな医療分野の研究開発体制における人材確保に関する方針及び具体的見込みについて政府の考えを伺いたい。
- ・我が国の医療分野の研究開発においては、特に臨床研究や実用化に向けた取組を更に推進し、改善していくべきであると考えているが、今回の新たな医療分野の研究開発体制の下で、こうした課題をどのように解決し、医療分野の研究開発を新薬創出、医療機器の産業の振興につなげていくのか、政府の方針を伺いたい。
- ・今後、我が国の臨床研究や治験を推進していくため、具体的にどのような取組を行うのか、また、更なるドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消にいかに取り組みんでいくのか、政府の考えを伺いたい。

## 奥水 恵一君（公明）

- ・健康・医療戦略推進本部において、具体的にどのような健康・医療戦略の案や医療分野研究開発推進計画を作成しようとしているのか、政府の考えを伺いたい。
- ・同推進本部がより具体的な目標と期間を定めた戦略を作成する必要があると考えるが、政府の考えを伺いたい。
- ・同推進本部に総合的なマネジメントを行う人材を配置する必要があると考えるが、政府の考えを伺いたい。

## 河野 正美君（維新）

- ・政府は、日本版NIHという呼称を用いなくなったが、その理由を伺いたい。
- ・日本で開発された新薬が、国内での承認を待っている間に、海外で先に販売されるという、いわゆるドラッグ・ラグについて、政府の見解を伺いたい。
- ・健康・医療戦略推進法案第2条の基本理念を読むと、政府は我が国の経済成長に貢献しない医療分野の研究開発には力を入れないのではないかという懸念が生じるが、希少疾病を治療するための医薬品等の開発は、本法案においてどのように位置付けられているのか、政府の見解を伺いたい。

## 中島 克仁君（みんな）

- ・独立行政法人日本医療研究開発機構に集約される医療分野の研究費について、同機構に集約される予算と各省に残る予算はどのように整理しているのか、菅内閣官房長官に確認したい。
- ・同機構の組織体制、役員等については、現在どのように予定しているのか、政府に伺いたい。
- ・新しい独立行政法人を設立しなくても、既存の独立行政法人である科学技術振興機構、医薬基盤研究所及び新エネルギー・産業技術総合開発機構を統合すれば、医療分野の研究費の配分等は十分に対応できると考えるが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。

## 佐々木 憲昭君（共産）

- ・今回提出された両法案において現場の研究者や一般国民の声が反映される仕組みが整備されているか伺いたい。
- ・会議の議事録等を原則公開としている以上、健康・医療戦略推進本部等の議事録等については議論の過程も公開に努めるべきと考えるが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・科学技術イノベーション創造推進費の創設によって、特定分野に予算が重点化され、基礎研究が減少してしまうのではないかという懸念について菅内閣官房長官の所見

を伺いたい。

## 小宮山 泰子君（生活）

- ・独立行政法人日本医療研究開発機構が既存の研究機関を統合した機関とならなかった理由について菅内閣官房長官に伺いたい。
- ・同機構の役職員に対して厳格な倫理規定を置くべきと考えるが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。